

<資料>『英語能・ハムレット』公演ポスター (※サイズを縮小し白黒化しております。)

Celebrating 1st Anniversary of *Miyakojima City*

宮古島市制一周年記念

NOH HAMLET

in English *Admission Free*
(Reserved Seat: 3,000 yen)

October 14 (SAT), 2006 14:00-15:20
Matida Civic Theatre, Miyakojima

October 15 (Sun) 10:00-10:50 a.m.
Ikemajima Public Centre in Miyakojima

Arranged and Directed by Kuniyoshi UEDA & Yukio KAKUTOU (Kanze School)
Performed by Kanze School Noh Performers (14th) & by English Noh Sh. Society members (15th)

"Shakespeare and the Noh have so illuminated each other"
(Donald Richie, *The Japan Times*, March 30, 1985).
"To be or not to be, is no longer the question."
「生死は、もはや問うまでもなし。この世もあの世も
本当のいのち。宇宙の命につながること」

(14日番組) 解説と「宮古島讃歌」上田邦義
仕舞「菊慈童」杉澤陽子「高砂」角当行雄
英語能「ハムレット」(袴能)
＜指定席予約＞
静岡 054-237-2712 (片桐)
宮古島 0980-72-3751 (梶原)

(15日番組) 解説 河本望
仕舞「高砂」河本望「羽衣」杉澤陽子
英語能「ハムレット」

主催
宮古島市+英語能シェイクスピア研究会 (ENS)
静岡県熱海市桃山町 28-40-701 代表上田邦義
Tel: 0557-82-1411 ueda@gssc.nihon-u.ac.jp

Ticket Reservations:
Call 0557-82-1411 (Ueda) or 0980-72-3751 (Kajiwara)
<http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~ISHCC/>
<http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~ueda/>

製作:T.T. & K.U.

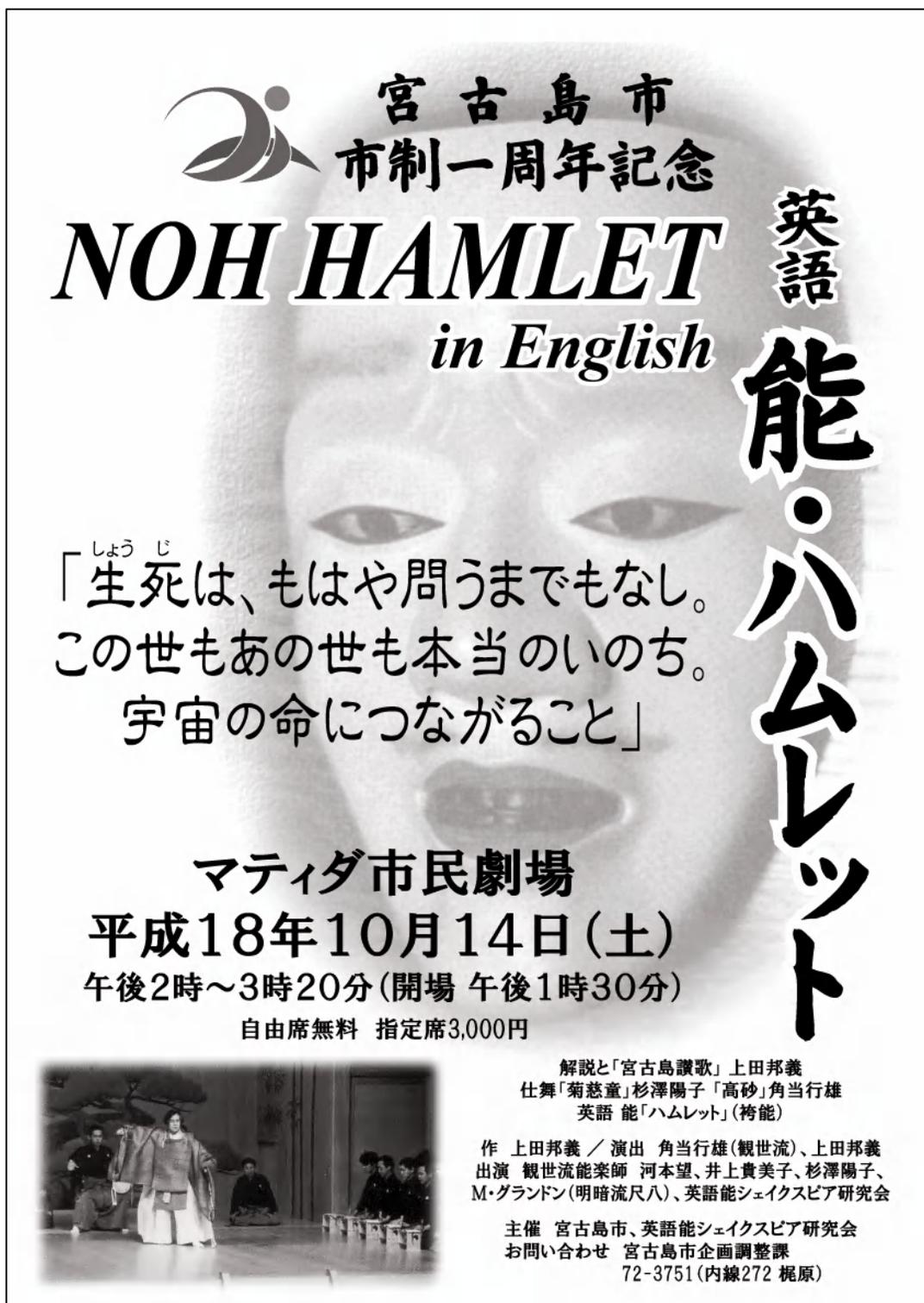
英語
能・ハムレット

マティダ市民劇場・自由席無料・指定席三千元
作・上田邦義 演出・角当行雄(観世流)・上田邦義

十月十五日(日)午前十時～十時五十分
池間島離島振興総合センター
出演 シテ上田邦義ツレ宮西ナオ子、ほか
出演 観世流能楽師 シテ河本望ツレ井上貴美子
後見杉澤陽子。M・格蘭ドン(明暗流尺八)
英語能シェイクスピア研究会(ENS)

十月十四日(土)午後二時～三時二十分

<資料>宮古島市の能公演ポスター (※サイズを縮小し白黒化しております。)



宮古島市
市制一周年記念

NOH HAMLET
in English

英語
能・ハムレット

「^{しょうじ}生死は、もはや問うまでもなし。
この世もあの世も本当のいのち。
宇宙の命につながること」

マティダ市民劇場
平成18年10月14日(土)
午後2時~3時20分(開場 午後1時30分)
自由席無料 指定席3,000円



解説と「宮古島讃歌」上田邦義
仕舞「菊慈童」杉澤陽子「高砂」角当行雄
英語 能「ハムレット」(袴能)

作 上田邦義 / 演出 角当行雄(観世流)、上田邦義
出演 観世流能楽師 河本望、井上貴美子、杉澤陽子、
M・グランドン(明暗流尺八)、英語能シェイクスピア研究会

主催 宮古島市、英語能シェイクスピア研究会
お問い合わせ 宮古島市企画調整課
72-3751(内線272 梶原)

<資料>池間島の能公演ポスター (※サイズを縮小し白黒化しております。)

池間島特別公演
入場無料

NOH HAMLET
in English

英語
能・ハムレット

「^{しょうじ}生死は、もはや問うまでもなし。
この世もあの世も本当のいのち。
宇宙の命につながること」

池間島離島振興総合センター
平成18年10月15日(日)
午前10時～11時30分



10:00-10:50 能公演(「英語 能・ハムレット」ほか)
11:00-11:30 講話(上田邦義)

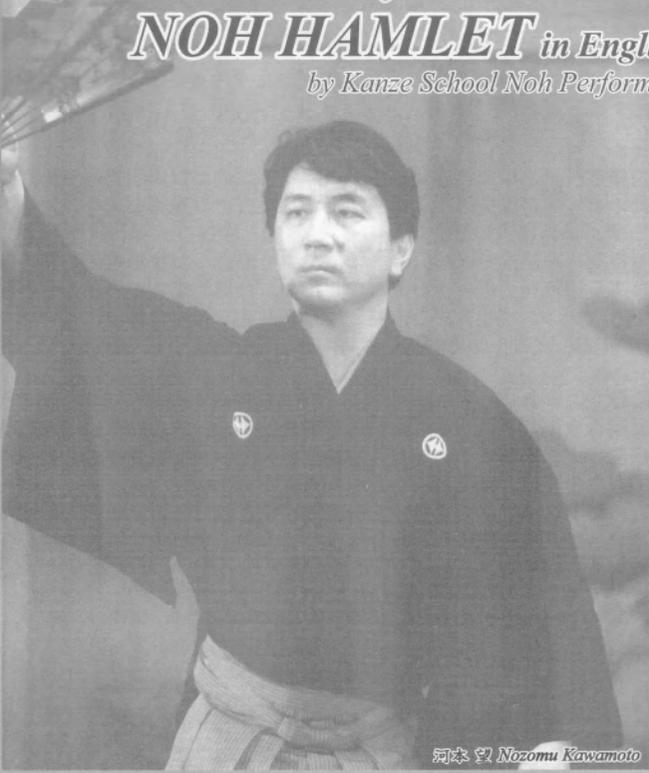
作・演出 上田邦義
出演 上田邦義、宮西ナオ子、英語能シェイクスピア研究会 ほか

主催 NPO法人いけま福祉支援センター
英語能シェイクスピア研究会
お問い合わせ いけま福祉支援センター・前泊博美
電話 090-4989-4233, 73-0484

<資料>宮古島能公演プログラム 表紙 (※サイズを縮小し、白黒化。以下同様。)

英語 能・ハムレット

The World Premiere of
NOH HAMLET *in English*
by Kanze School Noh Performers



河本 望 Nozomu Kawamoto



井上 貴美子 Kimiko Inoue 角当 行雄 Yukuo Kakutou 杉原 陽子 Haruko Sugisawa

 宮古島市制一周年記念公演
Celebrating the 1st Anniversary of Miyakojima City

平成18年10月14日 マティダ市民劇場 October 14th, 2006 at Matida Civic Theatre

<資料>宮古島能公演プログラム p. 1

宮古島市制一周年記念能公演 英語 能・ハムレット

The World Premiere of NOH/HAMLET in English by Kanze School Noh Performers



こころつなぐ 結いの島へ

伊志嶺 亮

宮古島市長

宮古島市制一周年記念文化行事実行委員会 委員長

5市町村合併により誕生した宮古島市も、お陰様でこのたび市制一周年を迎えることができました。宮古島市としての歴史は1年ですが、これは古より連綿と続く先達達の営みを引き継いでいるものです。長い宮古の歴史は島の外一琉球、中国、大和、アメリカ、太平洋諸島など多くの文化や経済、政治などとの交流・摩擦の中で形作られきたものです。昨年、私たちは島の未来を考えて5市町村合併の道を選びましたが、合併して良かったことが何であるのか、なかなか実感できないのが現状です。市制一周年を迎える今、合併前に誓った島の将来像「こころつなぐ 結いの島 宮古」を再確認し、島が一つとなるよう日々努力を積み重ねなくてはなりません。

折しも国際融合文化学会（上田邦義 会長）の第11回国内大会が宮古島で開催されますので、共催して、国際融合文化学という新しい視点を交えながら、宮古島市の将来について、特に平和行政と地域振興、文化振興について考える機会として、シンポジウムと能公演を企画いたしました。国際融合文化学は、優劣評価をともなう文化の比較ではなく、文化の調和・融合という視点から世界平和や地域発展を研究する分野です。これは宮古島市が目指すべき方向性に共通するものがあり、私たちに新しい視点を提供するものと思います。ご来場の皆様には、本公演から宮古島の未来に向けて、世界の未来に向けてのメッセージ（精神）をくみとっていただければ、幸いです。



すべての人の幸せを願って 一宮古島市制一周年によせて一

上田 邦義

国際融合文化学会会長

「英語能シェイクスピア研究会」代表

このたび宮古島市制一周年を記念して、私共の学会大会を御当地で開き、特別シンポジウム「21世紀人類の進化と宮古島の発展—具体的提言をどうぞ—」開催と併せ、『英語能・ハムレット』公演も実現できますことを、大変嬉しく、光榮に存じます。

21世紀も6年目。比較や競争やたたかいではなく、すべての人、すべての文化を尊重し、その「調和と融合」を図ることをモットーに、国際融合文化学会を設立して7年になります。どうしたらすべての人が幸せになれるか。自己や自国を中心とした発想では、21世紀、世界の平和は達成されず、一部の人間しか幸せになれないのではないか。アメリカの「独立宣言」（1776）は、「自らの幸福追求」を何よりも尊重すべき権利として掲げ、人類は未だその時代にいる。が、理想社会においては、「生命」はもちろん、互いに相手の生活文化や価値観を認め、譲り合う、「調和共生」がまず尊重されるべきではないか。

改めて、宮古島市制一周年、おめでとうございました。

万人が求めるものが「健康」であり、「幸せ」であり、「豊かさ」であり、そのための「分かち合い」「思いやり」そして世界の「平和」です。一周年記念行事への私共の参加が、宮古島市の皆様にも少しでもお役に立つことを念願し、御市のますますの御発展を祈念いたします。

<資料>宮古島能公演プログラム p.2

番組

1. 解説と祝言小謡「宮古島讃歌」	上田邦義 (英語能シェイクスピア研究会<ENS>代表)
2. 仕舞 菊慈童	杉澤陽子 (観世流能楽師)
高砂	角当行雄 (観世流能楽師)
3. 英語能・ハムレット (袴能)	作・上田邦義
演出	角当行雄、上田邦義
出演 シテ・ハムレット	河本 望 (観世流能楽師)
ツレ・オフィーリアの霊	井上貴美子 (観世流能楽師)
尺八	マーカス・グランドン (明暗流尺八導主)
後見	杉澤陽子、上田邦義
笛	植松葉子
地謡	田口裕基 (地頭)、安田 保、山本勝久、 玉置知彦、鈴木雅恵、松添寛之 (ENS)
働き	宮西ナオ子 (ENS)
製作 舞台製作他	片桐睦人、山本勝久 (ENS)
撮影	竹内正人、渡部英雄 (ENS)

主な出演者のプロフィール



角当 行雄(かくとう ゆくお) 能楽協会会員。日本能楽会会員。重要無形文化財総合指定。緑鈴会主宰。川崎市在住。昭和29年山口直知師に入門。55世梅若六郎師に師事。昭和28年初舞台、仕舞「春栄」。39年初シテ「田村」。抜き昭和45年「千歳」「猩々乱」、46年「石橋」九番習「俊寛」、56年「道成寺」、60年「望月」、平成3年「安宅」、6年「翁」「粘」、11年「定家」、13年「恋重荷」、17年「卒都婆小町」「鷺」。



井上 貴美子(いのうえ きみこ) 能楽協会会員。京都市在住。幼少の頃より父井上和幸と共に角当行雄師に師事。昭和50年緑鈴会にて初舞台、仕舞「鶴亀」。平成8年初シテ「賀茂」、抜き平成11年「猩々乱」。



河本 望(かわもと のぞむ) 能楽協会会員。京都市在住。8歳から22歳までアメリカ・ニューヨークとシカゴで暮らす。昭和63年井上和幸師に入門。角当行雄師に師事。昭和63年初舞台、仕舞「春栄」。平成17年初面「紅葉狩」ツレ。



杉澤 陽子(すぎさわ はるこ) 能楽協会会員。準職分。緑泉会同人。陽泉会主宰。東京都在住。昭和29年故観世寿夫に師事、35年より故津村紀三子、後に津村禮次郎に師事。31年初舞台仕舞「小鍛冶」、39年初シテ「胡蝶」、抜き平成11年「猩々乱」、12年「石橋」。緑泉会海外公演「トマス・ベケット」(民の女)、「オセロ」(エミリア)、「葵上」(ツレ)。日本大学大学院修士。昭和63年「能・シェイクスピア研究会」(上田邦義主宰)アメリカ公演「英語能・オセロ」(デスデモーナ)、以後英語能の研究を続ける。

<資料>宮古島能公演プログラム p. 3

解説

上田 邦義

本公演の歴史的意義

このたびの能公演は、わが国の能楽史上、記念すべき公演となるものです。

英語『能・ハムレット』は、宗片邦義が1982年に静岡市の能舞台で舞ったのが最初で、以来国内外で繰り返し上演されてきましたが、能楽師（プロの能役者）によって英語で公演されるのは、今回が初めてなのです。その意味でこれは本邦初演、世界初演（ザ・ワールド・プリミエ）として能楽史上公認されるものです。

シテ（主役。この能ではハムレット）を演ずる観世流能楽師の河本望氏は、小学校から大学までアメリカで教育を受け、帰国して日本文化、特に能に魅了され、以来十数年、能楽に精進して能楽師になられた方で、氏にして初めてこれは実現できたものです。

今回、その師匠である角当行雄氏の監督ということで観世流宗家のお許しをいただき、わが国の能楽師が英語で能を公演するという歴史的快挙となったわけです。台本の大部分はシェイクスピア（1564-1616）の英語です。

能とは何か

能は日本最初の演劇戯曲で、謡いと舞を基本とする詩劇であり、14・5世紀に観阿弥・世阿弥父子によって大成された総合芸術です。歌舞伎や文楽は、いわばその子供というわけです。能は今日に至るまで650年もの長い間、生き続け、今日世界の演劇人や芸術家たちに大きな影響を与えつつある、日本が世界に誇る特異な芸術です。英語では、Noh, Noh theatre, Noh opera などと言っています。

能の特異性

西洋の演劇は一般に前の時代の演劇を否定する形で新たな演劇を創造してきましたが、日本の演劇はさまざまな演劇を並存し、生かし続けてきた伝承性にその特色があります。能はその代表です。その精神性、神秘性、象徴性などが特異なところで、多くの能には霊が登場することから、死後の世界からこの世を見ているような感じがあり、「あの世とこの世の橋渡しの芸術」とか、「悟りの芸術」とも言われます。能の表現が様式的なこと特徴で、「能の美と力」は、その集中にある」とは、アーネスト・フェノロサの言葉です。

古典能と新作能

能といえば観阿弥・世阿弥を中心に14・5世紀に書かれたいわゆる古典能のことで、200番ほど残っています。その後書かれたものは新作能と言われます。江戸時代も明治以後も常に新作能が書かれ上演されてきたようですが、古典能のように繰り返し上演されてきた曲はほとんど見あたりません。1980年代に本格化した英語能も新作能のひとつです。

<資料>宮古島能公演プログラム p.4

英語能とシェイクスピア能

英語能とは、古典能と同じ手法・様式で、つまり謡い・舞・囃子・装束・能面などがほとんど同じで、言葉だけが英語の能です。(ただし、演能には「袴能」という能装束や能面をつけない演出法があり、夏季に多い演出法ですが、今回はその形で上演されます)。英語能では英語で謡いますから、世界中の多くの人が歌詞も鑑賞できるわけです。シェイクスピアの英語原文に観世流の節付けをして台本を創作し「能シェイクスピア研究会」が上演した英語能『ハムレット』『オセロ』『マクベス』『リア王』は、シェイクスピア劇による英語能です。

その後『能・オセロ』が日本語で能楽師によって上演され、またかつて夏目漱石が『朝日新聞』(1911)で提唱した『ハムレット』の日本語能翻案も2004年に実現されました。この記録映画は、この大会の研究発表会で上映されます。狂言方の野村万作師が、「この世もあの世も本当のいのち。宇宙のいのちにつながる」と謡い、好評を博した舞台公演です。これは漱石が晩年に述べたとされる「則天去私」を、作者の上田が謡いに翻訳したものです。

宮古島讃歌

(謡曲。祝言小謡)
宮古島市制一周年を祝い、未来を祝福す(二〇〇六年一〇月)

祝言 ヨワ吟・引立テテ

上田邦義 作・節付

拍合 上
「古代ゆ。神々愛でし宮古島。神々愛でし

宮古島。主島宮古・大神・池間。不撓

不屈の八つの島。宇宙の命を生きなんと。

海・空・大地紺碧の。いのち・健康・平和

の真太陽市。宮古ぬ美さや世界ぬ美さ。

輝りやがり名取りよ 宮古島

参考
Hakaki 「1. 宮古島ノコト。2. 世界。3. 都。(三ノイ)A ネフスキー『宮古方言ノート』
Haka (Haka) 「大層」(同、ネフスキー)
「美大」(Ugata) 清々、綺麗サ(同、ネフスキー)
「輝りやがり名取りよ」(光輝き名をあげよ) (稲村繁教「宮古島旧記並史歌集解」、仲宗根将二「宮古風土記」)

<資料>宮古島能公演プログラム p.5

演目について

仕舞「菊慈童」

菊の葉に降りた露の滴りが不老不死の薬となり、七百歳もの長寿を保つ慈童は、菊水の流れを汲んで勅使に勧め、七百歳の寿命を魏の文帝に捧げて仙家に帰っていく。菊の花のめでたさをテーマとする祝言の曲。



仕舞「菊慈童」
(杉澤陽子)

仕舞「高砂」

肥後国阿蘇神社の神主友成の前に現れた住吉明神は、春景色をほめたたえ、御代を祝って舞を舞う。民の安全と君の長寿を念願し、松吹く風の音に平和な響きを楽しむ。

(仕舞解説：河本望)

英語「能・ハムレット」あらすじ

(前場) デンマーク王子ハムレットは、宮内長官ポローニウスを殺害した咎めで、イングランドへ流されます。しかし海賊船にとび乗って、ひとり帰国したところから、この舞台は始まります。こうしたこの世の苦しみに耐えて「なおも生きてゆくか、それとも死を選ぶか。それが最大の問題」と悩むハムレットです。

突如、愛するオフィーリアの死に遭遇します。ハムレットは墓前で後悔し慟哭します。思えばもっぱら自分の生死や、叔父クローディアス（現王）への復讐にかかわって、彼女を真に愛していなかったのではないか。激しく後悔するハムレットの背後にオフィーリアの霊が現れます。やがて彼女は彼を許し、喜びの舞を舞って消え失せます。その時ハムレットに悟りが開けるのです——「生死はもはや問題ではない。死はいつ来ても構わない」と。そして未来に生きる覚悟を語り、「悟りの舞い」を舞います。

(後場) オフィーリアの兄、レアーティーズとのフェンシングの試合中に、ハムレットは毒剣に刺されて倒れます。「許し合おう。そしてこの世から解放されよう」。もはや復讐の気持ちはありません。過ぎてみれば「人生は『ひとつ』と数える長さ」でした。「人間には人生の荒削りはできて、最期の仕上げは神のもの」という境地です。デンマーク王子ハムレットは、親友ホレイシヨに見守られ、天使の飛翔にいざなわれて、安息世界に入ってゆきます。

<資料>宮古島能公演プログラム p. 6

英語能・ハムレット 対訳台本

NOH HAMLET in English
by Kuniyoshi UEDA

英語能・ハムレット

日本語訳

能原作者：上田 邦義

PROLOGUE in Japanese

(English translation)

口開け (日本語)

地謡

Solo: Hamlet, Prince of Denmark,

Chorus: Exiled to England over the sea,

For the reason he killed Polonius,

The King's Chamberlain,

Solo: Has returned home alone by a pirate-ship,

Chorus: Is now on his way to the Dane's castle.

And yet he is not informed yet

That his love, Ophelia, is dead,

Drowned in the river, after floating

Like a violet on its face, singing

Snatches of songs for a while —

詞 「デンマーク王子ハムレットは

宮内長官ポロニアスの

命をあやめしかどにより

海のかなたイングランドへ流されけるが

一人海賊船にとび乗って

帰国の途に着きたるなり。

「花のいのちか すみれ草。

愛する乙女 オフィーリアの

川面に浮かび 歌いつつ

亡くなりたるを いまだ知らず。

Noh Hamlet in English SCENE ONE

『英語能・ハムレット』 前場

[The music to announce the entrance of the shite is played;

Hamlet enters. He is on his way home from exile to England.]

[シテ登場の囃子あり。やがてハムレット登場。

イングランドへ島流しされての帰り]

[SHIDAI Thematic song] (Soft-singing, rhythmic)

Hamlet: To be or not to be: that is the question;

To be or not to be: that is the question;

To die, to sleep, no more.

[次第] (ヨワ吟、拍合) (以下英語謡曲に対する日本語訳)

ハムレット：生きてゆくか死を選ぶか、それが問題。

生きてゆくか死を選ぶか —。

死は眠り — それだけではないのか。

Ji-utai (Chorus): To be or not to be: that is the question;

To die, to sleep, no more.

地謡(地取)：生きてゆくか死を選ぶか、それが問題。

死は眠り — それだけではないのか。

＜資料＞宮古島能公演プログラム p. 7

<p>[SASHI-singing] (Soft, non-rhythmic)</p> <p><i>Hamlet</i>: Whether 'tis nobler in the mind to suffer The slings and arrows of outrageous fortune; Or to take arms 'gainst a sea of troubles, And by opposing end them? To die, to sleep, No more; and by a sleep to say we end The heart-ache and the thousand natural shocks That flesh is heir to,</p> <p>[SAGE-UTA Low-pitched song] (Soft, rhythmic)</p> <p style="text-align: center;">'tis a consummation Devoutly to be wish'd.</p> <p>[AGE-UTA High-pitched song] (Soft, rhythmic)</p> <p style="text-align: center;">To die, to sleep? Perchance to dream: ay, there's the rub; Perchance to dream: ay, there's the rub; For in that sleep of death what dreams may come, When we have shuffled off this mortal coil, Must give us pause: must give us pause. Thus conscience does make cowards of us all; And enterprises of great pitch and moment With this regard their currents turn awry, And lose the name of action, Lose the name of action. —</p> <p style="text-align: center;">[Hamlet notices the death of Ophelia.]</p> <p>[KOTOBA SPEECH]</p> <p><i>Hamlet</i>: Soft you now! The fair Ophelia!</p> <p style="text-align: center;">[Hamlet sits in front of Ophelia's grave, and sings.]</p> <p>[WAKA song] (Soft, non-rhythmic)</p> <p><i>Hamlet</i>: I loved Ophelia; I loved Ophelia, Ophelia!</p> <p style="text-align: center;">[Hamlet feels bitter regret and cries.]</p> <p>[NORU-rhythmic singing] (Soft)</p> <p>Forty thousand brothers could not, With all their quantity of love,</p>	<p>[サシ] (不拍合)</p> <p>ハムレット: どちらがよりノーブルな精神であろうか、 降りかかる非道な運命に耐えて生きるか、 それとも押し寄せる苦難の海に立ち向かい、 戦って、その息の根を止めるか。死は眠り —</p> <p>その眠りによって、心の悩みも、肉体が 生来受けついでさまざまな苦しみも、 すべて断ち切れるものならば —</p> <p>^{サゲウタ} [下歌] (拍合)</p> <p style="text-align: right;">もしそうなら、死は 心から願われるべき素晴らしい最期。</p> <p>^{アゲウタ} [上歌] (拍合)</p> <p style="text-align: right;">だが、死が眠りであるならば、 おそらく夢を見よう — それが気になる。 眠れば夢をみる — それが気になる。 死という眠りの中で、どんな夢を見るか、 肉体の束縛をかなぐり捨てたときに、 ここで立ち止まることになる。 こうして思索は人を臆病者にしてしまう。 一大決心をした企ても、 ここでその流れを変え、 行動という名を失ってしまうのだ。 行動という名を失ってしまうのだ。</p> <p style="text-align: center;">[ハムレット、オフィーリアの死に気がつく]</p> <p>[詞ことば]</p> <p>ハムレット: 静かに。 あの美しいオフィーリアが!</p> <p style="text-align: center;">[オフィーリアの墓前にひざまづく]</p> <p>[ワカ] (ヨウ、拍不合)</p> <p>ハムレット: 私はオフィーリアを愛していた。 愛していた! オフィーリア!</p> <p style="text-align: center;">[ハムレット、激しく後悔し、慟哭する]</p> <p>[ノル] (ヨウ)</p> <p>たとえ4万人の兄がいようとも、その愛を 寄せ合わせても、私の愛には及ぶまい。</p>
---	---

<資料>宮古島能公演プログラム p. 8

<p>Make up my sum; I loved Ophelia.</p> <p>[Hamlet meditates. Meditation music is heard.]</p> <p>[AGE-UTA High-pitched song] (Soft, rhythmic)</p> <p><i>Ji-utai</i> (Chorus): But you were concerned</p> <p>With "To be or not to be" of your own,</p> <p>With "To be or not to be" of your own,</p> <p>And also of your uncle, Claudius's</p> <p>His "To be or not to be" was your question;</p> <p>You did not really love Ophelia,</p> <p>You did not truly love her, and said,</p> <p>"I loved you once; I loved you not.</p> <p>Get thee to a nunnery. Go, farewell."</p> <p>Was that "love", your way of "love"?</p> <p>But you must know what Ophelia used to sing:</p>	<p>私はオフィーリアを愛していたのだ。</p> <p>[ハムレット、座禅の態。尺八の音。墓前で瞑想]</p> <p><small>アゲウタ</small> [上歌] (ヨワ吟、拍合)</p> <p>地謡: だが、お前はひとえに自分自身の 生死に関していたではないか。 自分自身の生死の問題に —。 また叔父クローディアスの生死に。 彼への復讐に —。お前は真に オフィーリアを愛してはいなかった。 本当に愛してはいなかった。 「愛していた」とか「いなかった」とか 「尼寺へ行け、さらば」と言った。 それは「愛」であったのか。 独り善がりの愛ではなかったのか? オフィーリアの歌を覚えていよう —</p>
<p><i>Ophelia</i>: "How should I your true love know From another one?"</p>	<p>オフィーリア: 「誠の愛を見分ける術を —」</p>
<p><i>Ji-utai</i>: How should I your true love know From another one?</p> <p>[The ghost of Ophelia appears. She notices Hamlet regretting, forgives him, dances joyfully (Chu-no-Mai), and disappears. Hamlet is enlightened.]</p>	<p>地謡: 「誠の愛を見分ける術を —」</p> <p>[オフィーリアの霊が現れる。激しく後悔するハムレットを 見て、彼を許し、喜びの舞を舞い(中の舞)、消え失せる。 ハムレット、悟りを得る。]</p>
<p>[NORU-rhythmic singing] (Strong)</p> <p><i>Hamlet</i>: To be or not to be: —</p> <p>To be or not to be: is no longer the question.</p> <p><i>Ji-utai</i>: To be or not to be: is no longer the question.</p> <p>If it be now, it be now,</p> <p>'Tis not to come, not to come;</p> <p><i>Hamlet</i>: If it be not to come, it will be now;</p> <p>'Tis not to come, not to come;</p> <p><i>Ji-utai</i>: If it be not now, not now,</p> <p>Yet it will come, it will come;</p> <p><i>Hamlet</i>: The readiness is all, the readiness is all;</p> <p><i>Ji-utai</i>: There is a special providence in the fall of a sparrow,</p>	<p>[ノル] (ツヨ吟)</p> <p>ハムレット: 生きてゆくか、死を選ぶか — 生死はもはや問うまでもなし。 地謡: 生死はもはや問うまでもなし。 それはいま来れば、 後には来ない。 ハムレット: 後に来ないなら、 今来る。 地謡: 今来なくとも、 後で来る。 ハムレット: ならば肝要なのは覚悟だ。 地謡: 雀が一羽落ちるも神の摂理。</p>

<資料>宮古島能公演プログラム p. 9

Since no man knows aught of what he leaves;
A man's life is no more than to say 'one',
The readiness is all, the readiness is all;
Hamlet: To be or not to be: is not the question.
Ji-utai: To be or not to be: is not the question,
But to live in the future is the only way of living;
We defy augury; By living in the present future;
You may transcend this world, you may transcend present time;
The readiness is all.

[IROE music. Hamlet's IROE dance, showing the passing of time.]

死は肉体の死にすぎないのだ。
そしてこの人生は「ひとつ」と数える長さ。
覚悟が肝要。

ハムレット: 生死は最大の問題ではない。
地謡: 生死は最大の問題ではない。
今からをいかに生きるかが問題。
未来への挑戦、未来に向けて生きること。
その時、この世この時を超越する。
この覚悟が肝要なのだ。

[イロエ。ハムレットの静かな舞。時の経過]

SCENE TWO

後 場

Hamlet's KIRI DANCE

ハムレット キリの舞

[After the fencing match or duel with Laertes.]

[レアーティズとのフェンシングで毒剣に倒れた後]

[NORU-rhythmic singing] (Soft)

[ノル] (ヨワ)

Hamlet: Exchange forgiveness.

ハムレット: 許し合おう。

Ji-utai: Exchange forgiveness.

地謡: 許し合おう。

Heaven make thee free of it.

今この世から解放されるのだ。

Hamlet: I follow thee.

ハムレット: 私もあとから行く。

Ji-utai: I follow thee; I'm dead.

地謡: 私もあとから行く。もう命がない。

Hamlet: O, wretched queen, adieu.

ハムレット: あわれな妃よ、さようなら。

Ji-utai: You that look pale and tremble,

地謡: 青ざめ震えている方々よ、

Had I but time, O, I could tell you.

時さえあれば話せるのだが

Alas, but let it be.

— これでいい。

Hamlet: Life is a lying dream.

ハムレット: 人生は一睡の夢。(思へば仮の宿)

Ji-utai: Life is a lying dream.

地謡: 人生は一睡の夢。

This world is not for aye;

この世は永遠のものではない。

All that lives must die,

生あるものはすべて死して

Passing through nature to eternity.

永遠の世へ移ってゆく。

Hamlet: He only wakes who casts the world aside.

ハムレット: ひとたび捨てる時、人は目覚める。

Ji-utai: There is a divinity that shapes our ends,

地謡: 最期の仕上げは神意による —

Rough-hew them how we will;

いかに人間が荒削りしようとも。

The readiness is all. Now cracks a noble heart,

肝要なのは覚悟。「いま気高いお心が往ってしまわれる。

The rest is silence; Good-night, sweet prince;

あとは静寂。おやすみ、美わしの殿下。

The rest is silence, silence;

あとは静寂、静寂、—

Flights of angels sing thee to thy rest,

飛翔する天使の歌声に誘われ安息世界に入られますよう。

Flights of angels sing thee to thy rest.

飛翔する天使の歌声に誘われ安息世界に入られますよう。

<資料>宮古島能公演プログラム p. 10 (※氏名の公表を控えられた協賛者もおられました。)

本公演は、次の皆様方よりご協賛頂きました。
主催者一同、深く御礼申し上げます。

協賛企業

株式会社KOS 様 (福岡市)
小林能装束有限会社 様 (東京都)
みと歯科 様 (熱海市)
磯丸 様 (熱海市)

協賛個人

具志堅 政一 様 (熱海市)
片山 博 様 (京都市)
川又 紀夫 様 (常陸太田市)
西岡 妙子 様 (紀の川市)
坂東 君子 様 (高槻市)
藤原 素朝 様 (横浜市)
棟居 禮子 様 (横浜市)
石川隆一・静江 様 (東京都)
宮西 ナオ子 様 (東京都)
田口勝美・麗子 様 (相模原市)
小池 祥子 様 (行田市)
畑江 美佳 様 (秋田市)

(順不同)

宮古島市制一周年記念「英語 能・ハムレット」

平成18年10月14日 於 マティダ市民劇場

主催 宮古島市 (〒906-8501 沖縄県宮古島市字平良186, 電話0980-72-3751)

英語能シェイクスピア研究会

(〒413-0006 静岡県熱海市桃山町28-40-701, 電話0557-82-1411)

宮古島市制一周年記念文化行事実行委員会

<資料>宮古島能公演プログラム 裏表紙

